

政策体系	基本目標名	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	施策主管課長	産業立市推進課
	政策名	2	地域資源を活かしたまちづくり		
施策関係課	施策名	1	中心市街地及び地域市街地の活性化		小倉 浩史
文化立市推進課、観光立市推進課、都市計画課、都市整備課、道路河川課					

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方					
	①中心市街地(佐野駅周辺地区) ②地域市街地(田沼駅及び葛生駅周辺地区)	① 中心市街地(佐野駅周辺地区)活性化計画区域面積	ha	165	165	96	② 地域市街地(田沼駅及び葛生駅周辺地区)区域面積	ha	192		192	192			
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法			
	①商業を中心とした魅力ある中心市街地を創出する。 ②地域特性に応じた生活機能の充実、活性化を図る。	① 中心市街地のメイン通り沿いの店舗数	目標 実績	軒	320 314	321 314	322 319	323	② 田沼駅周辺が以前と比べてにぎわっている、生活しやすくなったと感じている市民の割合	目標 実績	%		15.0 9.2	15.5 10.2	16.0 9.5
		③ 葛生駅周辺が以前と比べてにぎわっている、生活しやすくなっていると感じている市民の割合	目標 実績	%	15.0 7.6	15.5 7.6	16.0 6.6	16.5	④	目標 実績					
		④	目標 実績						⑤	目標 実績					

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
中心市街地の賑わい創出	①中心市街地活性化計画区域	①人の交流がさかん、商業地域となっている。	① まちづくり会社が行ったまちなかコーディネート件数	目標 実績	件	15 19	16 3	17 5	18	地域市街地の特色ある発展	①田沼駅及び葛生駅周辺地区	①地域の中心として暮らしやすく、特色を活かした地域となっている。	① 地域市街地(田沼)における定住人口	目標 実績	人	8,580 8,643	8,580 8,693	8,580 8,696	8,580
			② 空き店舗活用件数(累計)	目標 実績	件	54 54	58 57	62 59	66				② 地域市街地(葛生)における定住人口	目標 実績	人	2,160 2,092	2,160 2,064	2,160 2,020	2,160
			③ 市道佐野57号線の整備率	目標 実績	%	0.0 0.0	3.2 3.1	4.6 10.2	28.2				③ 空き店舗活用件数(累計)	目標 実績	件	3 1	4 1	5 2	6
			④ 市街地活性化施設の年間利用者数(まちなか活性化ビル、ばるぼーと、まちなかサロン)	目標 実績	人	131,000 125,647	132,000 112,671	133,000 54,343	134,000				④	目標 実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

令和2年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
施策	<ul style="list-style-type: none"> 市道佐野57号線道路改良事業については、物件調査を行い、駅南公園西土地区画整理事業については、区域の仮換地指定を実施する。 足銀跡地について、具体的な整備手法を検討する。 住居や医療、福祉、商業、教育等必要となる都市機能の集約を図り、定住を促進するため、中心市街地を含む都市計画区域を対象とした立地適正化計画を策定し、市民への周知を図る。 地域市街地内の空き店舗状況を踏まえ、具体的な活用を検討する。 チャレンジショップについて、引き続きホームページや広報紙等でPRするとともに、空き店舗活用を含めた創業支援に直結するような新たな取組について検討する。 市民ギャラリーについて、文化芸術分野の貸館施設であることを再度周知するとともに、新たな利活用を検討する。 	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・市道佐野57号線道路改良事業は、物件算定及び土地評価業務を、駅南公園西土地区画整理事業は、関係権利者への仮換地の供覧、土地区画整理審議会への諮問及び審議会からの答申を経て、区域全体の仮換地指定を実施した。 ・足銀跡地は、さのまちづくり(株)と連携し、具体的な活用方針を決定した。 ・立地適正化計画については、予定通り策定し、公表に向け関係機関に周知を行った。 ・チャレンジショップは、HP、広報で周知を図り、活用が図れたが、中心市街地、地域市街地の空き店舗活用の具体的な方策を検討するまでには至らなかった。 ・市民ギャラリーはコロナ禍のため、大々的な周知や新たな利活用の検討はできなかった。
	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 全て未達成	【成果指標達成状況】 ・コロナ禍のため、中心市街地のメイン通り沿いの店舗数の調査はできなかった。 ・田沼駅及び葛生駅周辺とも「以前と比べてにぎわっている、生活しやすくなったと感じている市民の割合」は減少した。	

基本事業名	令和2年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
中心市街地の賑わい創出	<ul style="list-style-type: none"> 市道佐野57号線道路改良事業については、整備に向けて物件算定及び土地評価を実施する。 駅南公園西土地区画整理事業については、区域の仮換地指定を実施する。 足銀跡地については、具体的な活用方法をはじめ、整備手法及び整備主体を明確にする。 新たな中心市街地活性化計画に基づき、各事業を実施する。また、中心市街地内の空き店舗や遊休地については、不動産業者と連携して、地権者へ積極的な利活用を促す。 立地適正化計画の策定を行い、その内容を市民等へ十分周知し公表する。 チャレンジショップについては、利用促進を図るためホームページ等でPRを行い、創業を考えている方へ支援する。 市民ギャラリーについては、利用促進に向けホームページ等で周知を図るとともに、今後の利活用を検討する。 	取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・市道佐野57号線道路改良事業は、物件算定及び土地評価業務を、駅南公園西土地区画整理事業は、関係権利者への仮換地の供覧、土地区画整理審議会への諮問及び審議会からの答申を経て、区域全体の仮換地指定を実施した。 ・足銀跡地は、さのまちづくり(株)と連携し、民間会社が整備する複合的商業施設の具体的な活用方針を決定した。 ・立地適正化計画については、予定通り策定し、市街地におけるまちづくりの指針とすることができた。 ・チャレンジショップは、HP、広報で周知を図り、活用が図り、創業支援を行った。 ・市民ギャラリーはコロナ禍のため、大々的な周知や新たな利活用の検討はできなかった。 【成果指標達成状況】 ・まちづくり会社が行ったまちなかコーディネート件数は相談窓口来社方式としたため、減少となっている。 ・空き店舗は年間で2件の活用があった。 ・市道佐野57号線の整備率は、目標4.6%に対して実績は10.2%であった。これは、令和元年度から区画整理事業と道路事業の全体事業費を対象として算出したことにより、実績が増となった。 ・市街地活性化施設の年間利用者数は、コロナ禍の影響を受け、大幅な減少となっている。	地域市街地の特色ある発展	・地域市街地については、不動産業者と連携して空き店舗や遊休地を把握し、地権者へ積極的な利活用を促す。 【基本事業の取組方針達成状況】 ・地域市街地の空き店舗や遊休地の調査については、コロナ禍のため実施できなかったが、来年度へ向け、あそ商工会やまちづくり葛生(株)との連携を行うことを確認した。 【成果指標達成状況】 ・田沼地域市街地については、田沼本町が田沼北地区画整理の影響によりわずかに増加している。 ・葛生地域市街地については、年々人口が減少している傾向である。 ・空き店舗の利活用については、平成20年度以降新規の利活用がなかったが、あそ商工会及びまちづくり葛生(株)の協力により、1件の利用があった。

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> 各市街地のにぎわい創出、定住人口及び交流人口の増加に努めるよう求られている。 本市の市街地におけるまちづくりについては、コンパクトシティ構想及び立地適正化計画に基づき、市街地への都市機能、住居機能の誘導を図ることとしている。 今後の中心市街地のあり方については、地元工商業者及び有識者から、民間主導に重点を置いた取組を行うべきであるとの意見が出されている。 さのまちづくり(株)を中心にまちなか活性化のための開発整備の動きがある。 市議会の一般質問において、地域市街地の活性化の取組強化が指摘されている。 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 日用品等は、可能な限り各市街地内で確保する。 各市街地内の土地所有者については、住宅、店舗として有効な土地活用を進めると共に、買い物客への効率的な駐車スペースの提供を行う。 各地域の特色を活かしたまちづくりに積極的にかかわる。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工団体等が中心となって、活性化の具体的な方策を打ち出していく必要がある。 魅力ある店舗への創意工夫や利用可能な空き店舗の活用を積極的に行う。 各店舗等で取り扱う商品の独自性を高めることや、新鮮で安価な商品の提供、更には他業種との連携を心掛け活性化につなげる。 中心市街地及び地域市街地活性化のため、さのまちづくり(株)及びまちづくり葛生(株)の積極的な活動が期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地内で必要となっているインフラ整備を計画的に進める。 地域市街地内では、既存ストックを十分活用しつつ、生活拠点として必要な住環境を確保する。 商工団体等と一体となって、各市街地の活性化施策を検討し、効果的な事業を展開する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 市道佐野57号線道路改良事業及び駅南公園西土地区画整理事業については、事業計画に基づき、順調に推移している。 足銀跡地については、さのまちづくり(株)と連携し、民間会社が整備する複合的商業施設の具体的な活用方針を決定した。 立地適正化計画については、市街地の特徴・役割を活かした拠点づくりの指針として、予定通り策定ができた。 チャレンジショップは、HP、広報で周知を図り、活用が図れたものの、中心市街地、地域市街地の空き店舗活用の具体的な方策を検討するまでには至らなかった。 市民ギャラリーについては、文化芸術分野の貸館施設であることを再度周知する予定であったが、コロナ禍の影響もあり、周知、利活用の検討とも行うことができなかった。 本施策の決算額は、令和元年度の1億50万円に対し、令和2年度は1億2,644万円と2,594万円の増となっている。主な要因は、駅南公園西土地区画整理事業の増によるものである。 	【令和3年度で解決する課題】 ・足銀跡地におけるさのまちづくり(株)への土地貸付と整備方針の確定 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①中心市街地活性化基本計画の将来像「活力あふれる暮らしやすいまち」の実現 ②中心市街地における空き店舗の利活用促進 ③地域市街地における活性化対策の推進 ④足銀跡地の整備促進 【令和4年度重点課題】 ⑤市道佐野57号線整備事業及び駅南公園西土地区画整理事業の整備促進	①中心市街地活性化対策として、さのまちづくり(株)と連携し、まちなか賑わい創出のための空き店舗活用やオープンテラスなど生活様式の変更等に伴う新たな施策を推進する。 ②中心市街地における空き店舗の実態調査を行うとともに商工団体等との連携による利活用の促進を図る。 ③地域市街地の活性化対策として地域の意見の集約と商工団体等との連携による空き店舗の利活用の促進を図る。 ④足銀跡地については、さのまちづくり(株)と連携し、民間活力による整備を進める。 ⑤市道佐野57号線の整備にあたっては、駅南公園西土地区画整理事業と連携を図りながら計画的に推進する。